

鵬 際

HOSAI

「鵬際」鵬は翼の巾3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬（おおとり）が飛ぶ（＝はるかなかなたの）空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一歩一歩目標に近づきたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬際」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。



八代経済開発同友会
(通巻第112号)

http://www.goroyoka-yatsushiro.com
E-mail:jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com

締めくくりに あたって



平成24年度
八代経済開発同友会
第49代 代表幹事
鶴 田 稔

八代経済開発同友会は、地域経済の発展を通して、豊かな八代地域の実現を目的として活動しています。

具体的に行動を起こし、地域経済に少なからず貢献している活動に“八代天草架橋旗高校サッカー大会”及び“選抜高校バドミントン大会八代カップ”があげられます。何れも、継続事業として受け継がれ成功裏に運営されていることに敬意を表します。

又、委員会の中において協議を重ね提言を行う活動があり、具体的に動き出した一つが“ひこいちDON”です。八代には、新鮮で美味しくて安価な数多くの農産物や海産物があります。しかし、八代ならではの誇れる料理が見あたりません。何とかご当地グルメと言えものを創作できないか、委員会で協議し提案したのが“ひこいちDON”でした。それを市役所が取り上げて、実行委員会が立ち上がり本年は第2回“ひこいちDON”レシピコンテスト一般の部が開催されました。来年は第3回としてプロの料理人を対象にしたレシピコンテストが開催される予定です。

八代にはなぜ食料品の加工業が育たなかったのでしょうか。その一つには安価で美味しく新鮮な食べ物がいつでも安易に手に入れられることに有るのかもしれませんが。豊かな自然の恩恵によって八代の生産者も消費者も、お互い、平穏で普通と思われるレベルの生活が成り立ってきました。しかし、この心の緩みが競争力に乏しく魅力に欠ける、特色のない

地域になってしまったのではないのでしょうか。危機感のないところに事業は育たないと言えるでしょう。

農業や漁業に付加価値をつけて販売する、いわゆる6次産業の確立、或いは農商工が連携することによって、食材の供給基地から食料加工品の輸出基地へと発展することが望まれます。

地域開発の2つの委員会ではスポーツによる町づくりの観点から、施設の誘致及び大会の招致について協議を重ねてきましたが、施設にあつては現在の経済状況や維持管理及び運用など非常に難題が多いことが判明しました。大会の招致にあつては、あらゆるスポーツ競技が盛んに開催されている状況の中、新たに招致することの大変さも解りました。その中で、全国的に優勝を争うような強豪校には九州内外からも練習試合の申し出や、大会への招致がなされている状況を勘案すると、指導者の育成或いは全国レベルの優秀な指導者の招致に新たな道が開けるような気がします。

以上が、平成24年度を終えるにあたり各委員会活動を通じて得た私の感想であります。本年のスローガンを覚えていませんか。

“50thへのアプローチ”～スタートダッシュへ向けて～です。

新年度は創立50周年を迎えます。この間に時代も大きく変わり、また何より会員の会への帰属意識も大きく変わってきているものと思います。

時代が求める同友会とは如何なるものか又会員が会員であることの喜びは何処にあるのか、新たな旅立ちの年にもう一度設立当初の原点に立ち返り、同友会がこれまでと同様に同友会として存在意義を保ち続けるためにも、理念を明確にし、目的意識を持って活動することが不可欠です。

50周年準備室においては、単に周年行事を計画するのではなく、同友会の原点に立ち返って明確な理念を構築していただきました。

次年度の幹事会においては、節目の年に再生同友会としてスタートダッシュが切れるように、準備万端整っているものと思います。

新たな門出に期待申し上げバトンを渡します。

ありがとうございました。感謝!!!

広報委員会

委員長 濱 孝治

広報委員会では、会報誌「鵬際」を年に3回発行し、会員・外部団体等へ向け

「八代経済開発同友会は今何をしているのか？」を発信し、少しでも興味を持ってもらうよう活動してきました。

毎回記事内容やネタ集めに苦労しましたが、毎月の例会・毎年恒例の八代・天草架橋旗高校サッカー大会・YatsushiroCup高校選抜バドミントン大会等、会員各位の企画、運営努力によって成り立っている各種イベント等を記事にしながら、何とか発行にこぎつけることが出来ました。

この2年間で大したことは出来ていませんが、同友会会員のマンパワーや人脈の深さ等多くの事を学ぶことが出来ました。

最後に、鵬際で広告掲載を快諾して下さった各企業様、本当にありがとうございました。

施設誘致委員会

委員長 小笹 康博

まずは、委員会活動が殆どできなかつたことを申し訳なく思っておりますが、次年度以降も、同友会が同じ思想を持って活動できればと考えております。

どこの行政においてもスポーツを健康・福祉の増進の面からのみ捉えており、経済面から捉えているところは皆無に近い。しかし、スポーツ施設の集約を図り、大会を誘致することで流入人口が増加し、八代の経済浮揚の一端を担うことが期待できる。経済波及効果にも期待をしているからこそ、東京都がオリンピックの再誘致に力を入れているのである。

弓道場では遠的ができない。武道場には駐車スペースがない。県南運動公園には公共交通機関でのアクセス手段が無い。現在の八代におけるスポーツ施設は、点在化しているために交通アクセスが悪く、老朽化が進み、要求される機能を有していないのである。

では、今の八代市に用地買収から施設の建設、運

営まで行う力が残っているのだろうか。政権交代による経済発展の期待は大きいものの、早急に施設の整備が進められるものではないだろう。

公共サービスだからと言って、行政に期待し要望しているだけでは日が暮れてしまう。施設の集約・整備が完了したころには時代が変わり、施設の陳腐化が進んでしまっているはずである。

ではどうすれば良いのか。民間の資金や技術やノウハウを、行政が提供してきた公共サービスに投入するしかない。

PPP(官民パートナーシップ)により、財政負担を減らしつつ市民が望む良質な公共サービスを提供することができる。さらには民間に対しても新たなビジネスチャンスを提供し経済の活性化にも期待ができる。

アイデアだけではなく、資金や技術といった「実弾」を持って行政に働きかけ、一体となって行動することこそが、私たち同友会の目標、すなわち八代の経済浮揚を達成する唯一最短の方法だろう。

親睦委員会

委員長 角坂 浩二

今年度親睦委員長を務めさせていただいた角坂です。鶴田代表幹事のもと、50周年を来年度迎えるにあたり様々な思いを考えながら取り組んで参りました。

当委員会での事業としましては、スリーデーマーチ、慶寿の会、そして例会後の懇親会など会員相互の親睦を深めるべく事業を行ってきました。その事業を行うため毎月一回の委員会に参加いただいたメンバーの皆さん、そして事業に参加いただいたすべてのメンバーの皆さんに深く感謝申し上げます。

反省すべき点もありますのでしっかりと検証し、今後の同友会活動に生かせるようにしていきます。

最後に、2年間務めさせていただきました鶴田代表幹事、幹事の皆様、そして会員の皆様ありがとうございました。今後も情熱ある行動と、取り組みを行って参りますのでご支援のほど、よろしくお願いいたします。

総務委員会

委員長 飛石 幸弥

何かしら昔から総務系の声がかかってしまいがちな自分ですが(笑)、2年間(その前も含めると合計3年間ですが)毎月例会や総会の企画・運営と同友会の事務関係の仕事に取り組んで参りました。反省すべき点はたくさんあります。会員の皆さんに例会やサッカー大会など行事への参加呼びかけが足らなかった事、それに付随して出席率をなかなか上げられなかった事、いつも司会進行が固かった事・・・皆さんへのフォローが足りずご迷惑をおかけしたかもしれませんが、委員会メンバーの皆さんに助けられて何とか無事にやって来れました。裏方の仕事でいつも大変でしたが、委員会や例会に毎回参加して頂き、一緒に楽しく活動が出来、感謝しています。

そして、経営や経済、歴史・文化など色々な方面から講演に来て頂いた講師の先生方、お忙しい中に時間を作って頂き、ありがとうございました。自分にとってももちろん勉強になりましたし、会員の皆さんも貴重なお話を共有出来て、色んな所で役立てて頂いてるのではないのでしょうか。

皆さんに助けられた2年間でしたが、これまでに教わった事を活かし、これからも同友会活動に頑張ってお参りますので、よろしくお願い致します。ありがとうございました。

付加価値創造委員会

委員長 續 協典

付加価値創造委員会は、八代独自の食グルメを八代の農産物を使って(付加価値を付けて)提供する事を目的に活動を行ってきました。具体的にはグルメコンテストを行い、八代の名物となりうるレシピをつくり出す事が目標のメインにあったのですが、八代市役所にも類似の計画があったことから共催が決定。その後は、地元の飲食店さんで組織されている やっちろやっ隊、八代よかとこ宣伝隊、八代地域振興局、まちなか活性化協議会、そして彦一の事に造詣の深い八代高等専門学校の森山准教授が参加され、ご当地グルメ実行委員会が設立されました。

ご当地グルメとしての名称は、「ひこいちDON」。彦一とんち話を連想させて面白く、八代の食材を使ったおいしい料理であることが条件です。事業計画としては、1年目は高校生部門、2年目の今年が一般部門で3年目はプロ部門が計画されております。

今年のコンテストはつい先日、3月10日(日)にゆめタウン八代店にて行われました。事前審査を通過した5作品について、応募者のプレゼンの後、鶴田代表幹事を含む6名の審査員の審査に会場審査も加わり、1位に決定したのは、2NE2(押方優花:八代南高校)さんの「DON !! パンプキン!!」でした。なお入賞作品については、市内飲食店での商品化、イベント等での販売が予定されております。笑える!?どんぶり「ひこいちDON」を是非食べてみてください。

3年目となる来年はいよいよプロ部門となり、神園次期代表の下で組織された新しい委員会が担当されることになると思います。私も微力ながら協力していきたいと思っておりますので、皆様も新しい委員会・委員長を応援してあげてください。

委員会のメンバーをはじめ、いろいろな皆様方の御協力があり、2年目のコンテストも無事に終らせる事が出来ました。大変感謝しております。2年間どうも有難うございました。



大会招致委員会

委員長 田邊 裕之

まず鶴田代表幹事、松岡副代表幹事、吉武専務、それから委員会の皆さまに2年間のご協力とご指導に感謝申し上げます。

1年目は「スポーツ大会招致委員会」、2年目はスポーツの括りを外し、「大会招致委員会」として活動しましたが、招致の仕込み時間を考えると、主眼はやはりスポーツ大会の招致という流れでした。

当初、成功事例である「高校生選抜バドミントン大会」に準じた大会の開催を目指しましたが、あえなく頓挫。理由の筆頭は、「強豪校の不在」でした。高校生スポーツの場合、強豪校があれば、強化を兼ねて土日祝日にその学校の胸を借りに行く、という練習構造があり、これが大会招致の足掛かりになる訳です。

バドミントンの場合、男子は東高、女子は白百合という強豪校が存するので、毎年、九州内外から数多くの高校が大会に参加しています。さらに大会の運営（審判等含む）は、高校生の自治に委ねることができるので、予算も軽減できる理想的な種目です。

しかしながら、その他のスポーツではこれに等しいものがなかった、ということです。

次に市との連携を模索し、いくつかのスポーツ団体と折衝を試みましたが、結果的に相手側からは、運営費の補助を求められるだけというものでした。

また、体育館利用の年間スケジュールは、毎年2

月にスケジュールリングされ、空きについては順次埋め込まれ、特に週末は早い段階で予約されていくので、調整は困難極まる、ということです。

さらに市の施設を利用したスポーツ大会は、現段、盛んに開催されており、市中では同友会の活動と異にした所で、様々な大会が企画され生まれているのが現実です。

現状の施設利用状況を鑑みるならば、規模の大きな大会招致はかなり困難であると考えられます。

これらは委員会活動を通じてこそ把握認識できたことだったので、私にとっては意義のあることでした。

そこで私は委員会において、市に対する強豪校養成の提言書（案）を提出した経緯がありますが、詰めも甘く、実際の提言行為までは至っておりませんでした。

結論として、スポーツ大会招致という観点では、学校施設を活用できることも含め、高校生を対象とし、八代市内に強豪校が存することによる経済的シャワー効果について強く理解を求め、強豪校養成のため「指導力のある監督を招聘する活動」に着地すると言えます。

よって、大会招致活動は、招聘の提言を論理的な理由づけをもって根気よく継続することが肝要であると考えます。

最後になりましたが、拙い委員長のため、貴重なお時間を割いて委員会活動に参加していただいた会員の皆様方にあらためて深謝し、挨拶とさせていただきます。

2月
例会



八代市立博物館学芸員 鳥津亮二氏を講師に招き 「小西行長と加藤清正 ～そうだったのか八代～」

を演題に講演いただきました。

八代市の地理的歴史や小西行長や加藤清正の知られていない真実の姿等とても興味深いお話でした。

第7回 YatsushiroCup 高校選抜バドミントン大会



本年で第7回を数える本大会、松岡隆志実行委員長を中心とし、2月2日(土)・3日(日)の二日間、八代東高等学校(男子会場)・八代白百合学園(女子会場)を会場に熱戦が繰り広げられました。

今年の大会も、全国レベルの実力を持つ、東高・白百合学園の両校と対戦できるとあり、九州はもとより沖縄・山口・岡山、男女合わせて24校・約150名もの選手が参加。各チームは参加するにあたり、自分たちが試合で使用するシャトルを5ダース用意、これが参加料となり試合運営に大きく役立てられています。1試合で数個のシャトルが使い物にならなくなる事を考えると、2日間での消費量は相当量になる訳です。

大会結果は右記のようになり、各選手、各チームのレベルアップに大きく役立った大会であった事には間違いありません。来年第8回大会も多くの選手たちに八代の地で熱戦を繰り広げていただきたいですね!

最後に様々ご協賛いただきました「八代よか」とご宣伝隊」様 「ヨネックス(株)」様 「(株)ケイ・カンパニー」様 「八代よか」とご物産館」様 「日奈久温泉センターばんぺい湯」様、その他ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

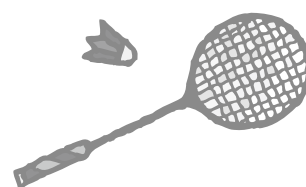
大会結果

男子

- 優勝 熊本県立八代東高等学校 A
- 2位 沖縄選抜
- 3位 岡山県立水島工業高等学校

女子

- 優勝 九州国際大学附属高等学校
- 2位 佐賀女子短期大学附属
佐賀女子高等学校
- 3位 八代白百合学園高等学校



ハマチャンの マラソン放浪記

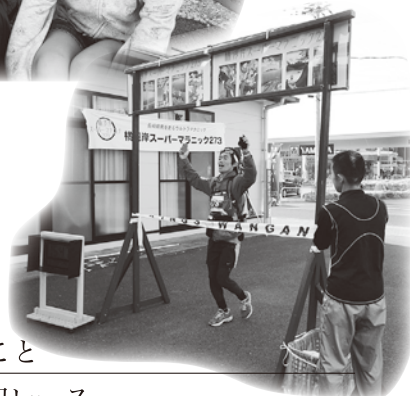
～そんなに走って何が楽しい?～

激走日誌
1

最後に私が熱中する「マラソン」について活動報告を致します。

何故走り始めたのか?きっかけは2012年開催、第1回熊本城マラソンへの参加でした。実はそれまで長距離走なんて全く興味が無く、2013年の今年が2年目のビギナーなのです。

しかしながら、熊本城マラソンで味わった「感動」「感謝」に強く心を動かされ現在に至っております。特に記録を出そうとか、賞をとりたいたいなどと微塵も思っておらず、走るたびに味わえる達成感・感謝・感動のために走ってきました。～そんな私のマラソン記～



【2012年(1年目)】

日時	大会名	距離	記録	ひとこと
2月	天草ロードレース	10 km	46分08秒	人生初レース。
2月	熊本城マラソン	42.195 km	4時間37分	4時間切りを目指すも失敗、大きな感謝と感動を感じる。
3月	水上村さくらマラソン	13 km	1時間12分	家族で参加のマラソン。花見も出来て最高。
4月	高千穂ハーフ	21 km	1時間43分	高千穂の高低差に苦しむ
6月	阿蘇カルデラマラソン	50 km	4時間59分	怖いもの見たさで挑戦、長距離マラソンに目覚める。
10月	筑後川マラソン	42.195 km	4時間07分	4時間切りまであと一步、ちょっと残念。
11月	島原半島一周	100km	15時間47分	更なる高みへチャレンジ、本当にきつかった・・・。
11月	天草マラソン	42.195 km	3時間59分	100kmの2週間後なのに最高タイム。。。謎です。。。。

【2013年(2年目)】

1月	いぶすき菜の花マラソン	42.195 km	4時間06分	極寒だったが、レース中特産品を食べまくって楽しむ。
2月	奄美ジャングルトレイル	50 km	5時間54分	その名の通り、ジャングルを走る。楽し過ぎた。
3月	天草観海トレイル	25 km	出場予定	とにかく景色が綺麗らしいです。
4月	平尾台トレイル	40 km	出場予定	毎年大人気のレースらしいです。

以上が今までの記録です。人に何と言われようと、家族に何と言われようと、勿論今年も継続事業です! 以後の報告は鵬際に空きスペースがありましたら掲載いたします。

交代会員
紹介

熊本第一信用金庫 八代支店
支店長 田中博康
血液型・・・A
趣味・・・読書、ジョギング



- 介護用ベッド・車いすなどのレンタル
- ポータブルトイレなどの福祉用品の販売
- 手すり・段差解消・住宅改修工事など



お気軽にご相談下さい。
福祉用具専門相談員が
お応え致します。

八代市弥生町15-10
TEL 0965-33-1105
FAX 0965-33-3545



100メートル全力疾走
株式会社 **ゼロワン**

代表取締役 **松岡隆志**

JX日鉱日石エネルギー(株)特約店

車買取・販売専門店



〒866-0072 八代市高下西町1827
TEL 0965-31-1101 FAX 0965-33-2182
携帯 0903-6666-333
URL <http://www18.ocn.ne.jp/~zero1/>
E-mail zero1@magma.jp

神園交通グループ

「スーパーばんぺいゆ」1日11往復で好評運行中!!
タクシー・貸切バス・ご旅行のお問合わせはお気軽に

(有)神園交通

〒866-0856 八代市通町10-57
TEL **0965-32-2121**

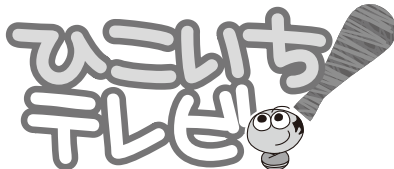
神園交通グループ

メディア株式会社



専務取締役 **吉武卓哉**

〒866-0863 熊本県八代市西松江城町11-27
TEL 0965-33-4837
FAX 0965-33-0129
E-mail: media-ty@media-kk.co.jp



テレビやつしろ株式会社

〒866-0833 熊本県八代市夕葉町3番地7
Tel 0965-30-7171



それぞれの生活スタイルを応援します

ユーマーマンション

株式会社 **小笹建設**
〒866-0061 熊本県八代市渡町1303
ユーマーマンション事業部
TEL (0965)32-2849

株式会社 **ランドウィル**
〒866-0061 熊本県八代市渡町1289-1
TEL (0965)32-2849
FAX (0965)32-8485



空室検索サイトOPEN! <http://www.ym-rent.com>

選ばれた一着、
確かなブランド

春物新作発表

ビッグサイズコーナー・スモールサイズコーナーあります。
お気軽にどうぞ!

豊かなファッションライフを創造する



本店 八代市本町2丁目3-18 (アーケード街・中央)
☎0965(32)3668(代) 営業時間AM9:00~PM8:00

松橋店 宇城市松橋町松橋824-1 (松橋ショッピングセンターフレンドさん前)
☎0964(33)4129 営業時間AM9:30~PM8:30

GROVE カジュアルコーナー〈グローブ〉 (八代本店内)
☎0965(32)3668 営業時間AM10:00~PM8:00

全国結納品組合連合会加盟店

お茶の 濱大松園

フリーダイヤル (小売店) **0120-40-3311**
臨 港 店 電話 (0965) **33-5163**
本 町 店 電話 (0965) **33-0022**
イオン八代SC店 電話 (0965) **39-3553**

通信販売〈カウネット〉

オフィス家具・事務用品・紙・文具・教材・教具・OA機器

有限会社 小林商店

本 社 / 〒866-0884 熊本県八代市松崎町786-6
TEL 0965(33)4185 FAX 0965(33)4187
営業所 / 熊本高専八代キャンパス売店 TEL 0965(53)1233 (内線2236)
県立水俣高校売店 TEL 0966(62)4967
E-mail bunguk@m09.alpha-net.ne.jp

土地・建物の調査・測量・登記、行政許認可手続

〒866-0014 熊本県八代市高島町4073番地 1
TEL **0965(34)1628**
FAX **0965(32)8088**
eメール tsuruta@taj.bbiiq.jp

土地家屋調査士・行政書士 **鶴田 稔**